

うじたわら

No. 112

2022.8.1

議会だより



**6月定例会 コロナ禍における
生活・暮らし支援対策等可決……………P2**

町政ズバリ聞く（一般質問）……………P5~P9
インタビュー（齊藤 仁さん）……………P11

＝宇治田原ビューティーズ＝
全国大会出場
おめでとうございます

6月定例会

コロナ禍における生活 新型コロナウイルス感染症対策事業費

暮らし支援対策等 (ワクチン4回目接種) など

可決



更新予定の消防ポンプ自動車

財産の取得について
(議案第30号)
宇治田原分署に配置されている消防ポンプ自動車を更新するもの

消防ポンプ自動車の配置状況は
今回取得予定の消防ポンプ自動車は、キャブといわれる消防火装

取得予定であるが、京田辺市消防本部には同様のポンプ車は何台配置されており、同時期に更新となる井手分署も同型の車両を取得予定か。
本署と北部分署に各1台配置されており、井手分署も同様の車両を取得予定である。

6月定例会では、付託議案2件、報告事項8件があった。

総務建設常任委員会

新型コロナウイルスワクチンの追加接種(4回目)の実施に向けた接種体制の確保、住民税非課税世帯や低所得の子育て世帯等への特別給付金など4,635万3千円を追加し、全会一致で可決した。

新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 953万円
新型コロナウイルスワクチンの追加接種を実施する体制を構築する費用

住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業費 2,880万円
住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を給付(令和3年度に受給している世帯は対象外)

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 662万円
低所得の子育て世帯に対し、児童1人あたり5万円の特別給付金を給付

予算特別委員会

令和4年第2回定例会は、6月2日から16日まで開催した。予算関係1件(補正)、条例関係1件、一般議案1件について提案があり、原案通り可決した。一般質問には8人の議員がたち、活発な議論を展開した。

一般会計補正予算(議案第28号)

本町独自の物価高騰などへの施策は

今回の補正予算では国施策の事業が計上されているが、物価の高騰など、住民の家計を直撃する中、本町独自の施策検討は、
現在、生活者や事業者の実態を把握している各課に生活支援、産業支援の視点を踏まえた取り組みを募っており、その内容について検討し、9月定例会に補正予算として提案したい。

報告事項

令和4年度町民税(個人)賦課状況

令和3年度町税徴収実績

建設環境課

ごみ排出量の令和3年度実績
環境のくらし地域活動促進事業補助

まちづくり推進課

「新しい地域公共交通」に係る地域説明会の結果概要
新名神高速道路建設事業等の進捗

上下水道課

下水道普及状況
宇治田原町水道事業及び下水道事業経営等審議会令和4年度第1回会議結果概要



みんなの願いを込めて(子育て支援センター)

6月定例会では、報告事項4件があった。

文教厚生常任委員会

報告事項

令和4年度介護保険料賦課状況

子育て支援センター
地域子育て支援センター事業

社会教育課

生涯学習推進計画素案に対するパブリックコメント結果
令和4年度国民健康保険税賦課状況

6月定例会議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	浅田	原田	宇佐美	山本	山内	上野	藤本	森山	馬場	榎木	今西
予算	議案第28号	一般会計補正予算(第1号) (住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業費などの追加) 【4,635万3千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第29号	宇治田原町条例等の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第30号	財産の取得について (災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎谷口議長は賛否同数以外は表決に加わりません

一般質問

ズバリ! 町政を問う

6月7日

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しており、今回より1ページに2名の掲載としました。



質問者	質問事項
1 今西利行 (P6)	1. 地域公共交通 ●防災対策
2 榎木憲法 (P6)	1. 交通安全対策 2. 成年年齢引下げに伴う取り組み
3 山内実貴子 (P7)	1. 観光施策と住民生活 2. マイナンバーカードの普及推進
4 宇佐美まり (P7)	1. 地域公共交通 ●学校教育

質問者	質問事項
5 森山高広 (P8)	1. 安心安全
6 山本 精 (P8)	1. 農業者支援
7 原田周一 (P9)	1. 法人後見制度 ●児童虐待
8 上野雅央 (P9)	1. 「移住定住人口」から「関係人口」への取り組み ●ヤングケアラー

●印の質問事項は本紙には掲載していません。詳しくは録画による動画配信をご覧ください。



傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ (<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>) をご覧いただくか、議会事務局 (☎ 88 - 6641) までお問い合わせください。



議会の日程はこちらから

5月臨時会

人事案件

副町長の選任同意



山下康之氏

任期 令和4年6月1日～
令和8年5月31日

副町長の抱負

今まで培ってきた行政経験を生かし、多様な行政課題に的確に対応し、西谷町長の補佐役として職務に専念し、精いっぱい頑張らせてまいります。

令和4年第1回臨時会は5月17・18日の両日で開催した。条例関係3件(改正1件・専決2件)を原案通り可決・承認した。また、人事案件では、副町長の選任について提案があり、慎重な審議のうえ同意した。

反対討論

住民の声を聞かない町政を支えてきた
山本精議員

昨年の町長選挙で、幹部職員不祥事対応、現庁舎の建設、小中施設一体型計画、高校生通学費補助、敬老祝い金の削減など、住民の声を聞かない町政運営の在り方が争点となり、不信や不満が「刷新の会」の得票率に結びついた。
副町長は、その町政を支えてきた方であり、選任には不同意である。

賛成討論

副町長に最もふさわしい人物である
藤本英樹議員

副町長は、一期目就任以降、常に町長の右腕として職員の先頭に立ち、町政をサポートされてきた。大きなインフラ整備を控えており、まちづくりの過渡期である今だからこそ、なくてはならない存在である。行政マンとしての経験と知識、住民との信頼関係、近隣市町や府との人脈の広さこそ、副町長としての器であり、最適の人物である。

反対討論

公務員の給料をさげるな
森山高広議員

世界的なインフレや円安の中、日本人全体の給与を上げないと、この国難に対応できない。人事院勧告の制度は、日本人の実質給与の低下に対応していない。また政府が、民間に賃上げを要求して、公務員の給与を下げるのは、矛盾がある。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分
(議案第26号)

高所得者層の賦課限度額を引き上げるもの

反対討論

国保への国費投入の増額を求める
今西利行議員

今回の改定で賦課限度額が3万円引き上がる。その増収分を中間層に回すという被保険者間でのやり繰りでは、国保制度の構造的問題は解決しない。国保への国費投入の増額を求める。

職員の給与に関する条例の一部改正 (議案第24号)
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、期末手当の支給割合を改正するもの

5月臨時会議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・△欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	原田	宇佐美	山本	山内	上野	藤本	森山	馬場	榎木	今西	谷口
人事	議案第27号	副町長の選任について(山下康之氏)	✓	✓	同意	○	○	●	○	○	○	▲	▲	○	●	-
条例改正	議案第24号	宇治田原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(人事院勧告に基づく期末手当の改正、4.45月→4.30月)		✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-
	議案第25号	宇治田原町税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について(法律の改正に伴う条例の一部改正)			承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第26号	宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について(法律の改正に伴う条例の一部改正)	✓		承認	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●

◎議長を務めた浅田副議長は賛否同数以外は表決に加わりません

新名神 IC 周辺のビジョンは

新たな観光拠点としたい



山内実貴子議員

【問】新名神高速道路や都市計画道路宇治田原山手線の開通に向け、新名神インターチェンジ周辺のビジョンについて、住民が夢や希望を持ち、心待ちにできる取り組みは。

【答】交通便利性を生かした物流拠点など、産業ゾーンと位置付けている。西ノ山展望広場や、末山及びくつわ池自然公園などの施設と連携し、お茶をテーマとした情報発信や観光茶園など、新たな観光拠点となるよう検討していきたい。



マイナンバーカード申請窓口

【問】マイナンバーカード普及へのサポートは。

【答】マイナンバーカードのさらなる普及に向け、申請時自分でスマホを操作する体験型を行うことが大切だ。また、職員が出向いてのサポートも可能と考えるが、機械に不慣れな方が、簡単に申請手続きができる環境を整えるため、専用タブレットの整備を進める。出向いての申請サポートや体験型などさまざまな対応ができると考える。

地域公共交通の構築は

新たな交通体系を議論している



宇佐美まり議員

【問】新名神高速道路や都市計画道路宇治田原山手線の開通が近い将来となった今、これら利点を生かした未来の地域公共交通計画とは。

【答】町外への基幹公共交通機関である路線バスへの接続と利便性確保を前提に、交通空白地有償運送および区域運行のほか、福祉有償運送やスクールバスなど地域内の輸送資源や、町内外の道路ネットワーク整備を踏まえたものを考えている。



高速道路網を有効活用している直Q京都

【問】住民が気楽に京都市内への買い物や観光、食事等を楽しむことができる京田辺市から京都駅まで発着している「直Q京都」のような高速道路網を利用したバス路線を計画に位置付けられないか。

【答】将来的な道路網を活用した新たな交通体系については、交通事業者との協議の都度、さまざまな方向性を議論している。

町営バス有料化は福祉の後退では

公共交通の維持が福祉の向上



今西利行議員

【問】本年10月から、町営バス、予約型乗合タクシーが1乗車当たり300円の運賃が必要となる。交通弱者への有料化は福祉の後退では。

【答】地域説明会で利用者の声を聞き、「一日乗り放題券」や家族も使用できる「地域応援定期券」など、負担軽減策を示し、理解をお願いした。民間路線バスを含め、公共交通を維持していくところ、福祉の向上につながる。



現在、無料で走る町営バス

【問】現在の町営バスは、住民の足を守る立場で20年以上、無償で運行されてきた。町営バスを有料化すれば、路線バスが維持できるのか。町営バスは、町が予算を確保すれば維持できる。今後、運転免許返納者が増えることを考えれば、これまで通り無料にすべきでは。

【答】必要な利用者軽減策を講じたうえで運賃をいいただき、地域公共交通を維持継続することにより、住民の安心安全、お出掛け支援などにつなげたい。

山手線延伸に伴う交通対策は

府や関連団体と連携し啓発を図る



榎木憲法議員

【問】山手線は今年度末までに南バイパスから新市街地間が延伸供用開始されるが、工業団地への交通車両がこの道路を通り立川経由で工業団地へ抜け道としての利用が想定される。

【答】この抜け道は信号機もなく今より交通車両増が懸念される。安全面での当局の事前の取り組みは。



山手線延伸工事 南バイパスから役場方面

【問】国道307号と町道南北線交差点に信号機設置を府に検討してもらっているが、生活道路への交通量が一定増えると思定される。これまで以上に工業団地管理組合と連携し、企業や事業所への働きかけを強化しながら安全対策に努める。

【問】4月1日より18歳19歳の方が成年になられたが、消費者契約トラブルに遭わない啓発活動は。

【答】HPや広報紙にて注意喚起を促している。消費者庁の資料なども活用していく。

成年年齢引下げに伴う取り組み

法人後見事業導入の方針は

福祉ニーズとして有益である



原田周一議員

○ 本町の高齢化率・独居高齢者数と10年後は。
 〇 高齢化率31・69%、独居高齢者327世帯であり、国の推計と同様に予測している。

○ 福祉計画の中に成年後見制度の利用促進は、必要な人が利用できるよう整備するところがあるが、法人後見事業導入の考え方は。

○ 今後高まると予想される福祉ニーズの一つとして法人後見事業は有益である。

○ 事業の推進にあたり、現在の社会福祉協議会の体制で進める事ができるのか。

○ 単独で事業対応が困難な市町村のバックアップとして、府社会福祉協議会で、尊厳が大切にされ、自己決定を支える権利擁護体制の確立に向けて検討されている。府の動向を注視し、福祉の推進に取り組む。



法人後見事業中核機関としての社会福祉協議会

安心安全から安全に切り替えては

切り替えは出来ない



森山高広議員



安心安全までは求めない海外の国

○ 安心安全は、健康保険制度、年金制度のように矛盾や犠牲の上に成り立っている。残念ながら、国力が落ちてこのまま安心安全は維持できない。

○ 本町も、他の国のように安心安全ではなく、できる範囲の安全という考え方に切り替えては。

○ 本町は安心安全の考え方に基つき、優先度が高い事業から予算配分を行っている。考え方の切り替えは出来るものではない。

○ 子どもが本町の宝という考え方で、若い世代や将来の世代に大きな負担を強いられる安心安全はどうか。このままでは、外国でも生き抜き、国内でも耐えられる強さが必要になるが。

○ 本町の宝である子どもたちに、将来にわたって過度な負担を強いることがないよう持続可能な財政運営をめざし、行財政改革を進めている。安心安全の取り組みは、放棄できない。

「関係人口」における創出対策は

更なる情報発信を進める



上野雅央議員

○ これまでの移住定住施策は、あまり成果が見られなかったが。

○ 本町を全国に知ってもらうシニアプロモーションの展開や空家活用など、国・府の財源を最大限に活用し推進してきた。今後も有効な財源活用を前提に継続的に施策展開を行い、総合計画・総合戦略に掲げる将来人口の実現をめざす。

○ 国が進める定住人口から関係人口への取り組みについての創出対策は。

○ 地域ファンバンクの取り組みによるインスタグラムを活用した公式アンバサダーの募集・発信の開始、高速道路サービスエリアでの継続的な広告発信、ふるさと納税の体制強化など情報発信の推進を図る。これら取り組みの相乗効果で、移住した定住人口でもなく、観光で訪れる交流人口でもない関係人口を創出し、幸福度の高いまちづくりをめざす。



幸福度の高いまちづくりをめざして

急激な物価高騰で茶農家支援は

国・府の動向を踏まえ適切に対応



山本精議員



値上がりしている肥料

○ 急激な物価高騰が暮らしと営業を直撃し、住民から悲鳴が上がっている。新型コロナウイルス、ロシアによるウクライナ侵略だけでなく、アベノミクスによる金融緩和が、異常な円安をつくりだし物価高騰を招いている。

○ お茶のまちの本町では、茶農家から、「肥料、農薬、重油、ガソリン、電気などの生産資材などの値上がりで経営そのものが苦しくなっている。」と聞いているが。

○ 農業経営を維持・継続していただくために、今年当初予算で高収益作物次期作支援事業費を計上している。

○ その後の急激な物価高騰による収益の減少や、JA全農が6月から肥料を最大94%値上げすると発表されたが、追加の支援策は。

○ 肥料価格高騰に対し、既に政府・与党が農業者支援について検討に入ったことから、引き続き国・府の動向を踏まえ適切に対応する。

一般質問

一般質問

総務建設常任委員会

4月25日の委員会では、各課の第1四半期事業執行状況、報告事項6件があった。

〈報告事項〉 4(回)宇治田原町地域公共交通会議の開催結果

- ・令和4年度固定資産税及び軽自動車税当初賦課状況
- ・令和3年度人口動態集計(第4四半期)
- ・宇治田原町税条例の一部を改正する条例の専決処分
- ・まちづくり推進課
- ・第15回(令和3年度第



役場で待機するうじたわ LIKE♥タクシー

ど、道交法上、警察と協議していかなくてはならない内容のことである。

- 3月実績で63回運行、延べ72名乗車という内容であった。
- 全てデマンド化されることはあり得るのか。
- バスという乗り物は、定期的に定路線を走行しており、利用者にとって利便性に優れているため、全てデマンドタクシーに変更する考えはない。
- ・令和3年度第2回宇治田原町都市計画審議会の開催結果
- 都市計画マスタープランの変更で、住宅開発などの考えは。
- 住宅需要については民間業者の動向などを注視していく必要がある。

文教厚生常任委員会

4月26日の委員会では、各課の第1四半期事業執行状況、報告事項1件があった。

〈事業執行状況〉 福祉課

- 住民税非課税世帯への臨時給付金事業について、家計が急変した世帯の状況は。
- 家計急変世帯として給付したのは、申請2、給付2で100%であった。
- 健康対策課
- 高齢者の保健事業と介護事業との一体的な実施において、埋もれているハイリスク者への対応策は。
- 国保データベースで、レセプトなどの状況を調べ、なにも医療や支援を受けていない方をリストアップし、状況を調べるなど積極的にアプローチする。
- 子育て支援課
- 新型コロナウイルス感染症対策に関して、保護者に子どものワクチン接種の意向調査をした際、不安の声があったと聞いたが。
- 2月の意向調査の際には、情報が少なかつたので、問い合わせも多かった。その後、情報の



子どもへのワクチン接種

提供に努めたため、問い合わせは減少した。

- オンライン形式で行われる家庭学習支援で中学生の定員が35名となっているが。
- まだ詳細を詰めている段階だが、約半数の申し込みを想定しており、定員オーバーの場合も対応は検討している。
- 健康対策課
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分

お試し住宅第1号入居者

さいとう じん さん 齊藤 仁 さん

お試し住宅に入居後、宇治田原町に移住してこられて3年目の齊藤仁さんにインタビューしました。



Q. 宇治田原町に来られたきっかけは

A. 田舎で野菜作りをしたいと思い、空き家バンクを探して、南丹市や南山城村なども探していたのですが、奥さんが伏見で働いているので近いからです。

Q. 宇治田原町に今後期待することは

A. 町内に高校か専門学校みたいなものを誘致してもらったら、人口減少問題にも少しは良くなるのではと考えます。

Q. 宇治田原町の印象は

A. お試し住宅に6か月住まわせてもらったり、ふるさと納税の返礼品にも利用してもらったりして、周りの方々と知り合いになったことが嬉しかったです。また、電車はないけど交通アクセスがいいこと、そして何よりも自然が豊かなことです。

Q. 今後の抱負は

A. 宇治田原のクレソンをアピールして、もっと広げていきたいと思っています。また、ふるさと塾にも参加させてもらっていて、イベントなどでも何か宇治田原町の役に立ちたいと思っています。

Q. どんなものを作られているのですか

A. クレソンといって肉料理の付け合わせによく利用される野菜です。非常に栄養価が高くビタミンが豊富な野菜で、2反ほど田んぼを借りて作っています。



栽培しているクレソン畑の前で



タブレットを使ったプログラミング学習（田原小学校）



13年ぶり全国大会出場・継続は力なり（宇治田原剣志会）



元気 UP 教室でフレイル対策の皆さん

次回議会の予定
〈9月定例会〉
9月5日開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします。

編集後記

今年、近年になく多くの蛍が飛び交い、多くの人が観賞に訪れていました。

さて、小学校では3年ぶりにプール授業が開かれました。子どもたちは待ちに待ったプール授業でクールダウンしたことだと思います。

また、うれしい知らせがありました。宇治田原剣志会、宇治田原ビューティースが全国大会に出場を決めました。

まだまだコロナ感染症に油断ができませんが、熱中症にも気をつけて、この夏を乗り切っていたきたいと思います。

議会だよりは、今号より編集を変更しました。読みやすい議会だよりになりますよう、皆さまのご意見をお待ちしております。

広報編集委員長 山本